

# 美波町病院事業経営改革プランの実施状況について

平成22年度の美波町病院事業経営改革プランの実施状況について、美波町病院事業経営改革プラン評価委員会において、この経営改革プランに掲げられた経営指標及び数値目標等について、点検・評価を行い、9月9日にその結果を美波町長に答申しました。

この答申内容について、次のとおり公表いたします。

## 美波町病院事業経営改革プランの実施状況について（答申）

1. 各病院ごとの、財務に係る数値目標について検討をしたところ、平成22年度計画に対して、実績では、

○ 経常収支比率については、

日和佐病院では108.6%で15.2%上回っている。

由岐病院では97.3%で2.5%上回っている。

○ 職員給与費比率については、

日和佐病院では107.2%で31.8%多くなっている。

由岐病院では61.1%で5.4%多くなっている。

○ 病床利用率については、

日和佐病院では61.2%で9.2%下回っている。

由岐病院では38.3%で21.7%下回っている。

○ 医業収支比率については、

日和佐病院では60.1%で25.8%下回っている。

由岐病院では83.2%で5.0%下回っている。

○ 外来患者数については、

日和佐病院では1日あたり78.5人で21.5人下回っている。

由岐病院では1日あたり115.7人で34.3人下回っている。

以上のような結果となっており、各項目については、多少の差異はあるが、両病院ともに外来患者数の減少があり、それに伴い入院患者数も目標値に対して大きく下回っているため、更なる努力が必要である。引き続き平成23年度の目標に向かって努力されたい。

2. 両病院の運営状況を検討した結果、日和佐病院の累積欠損金は354,778千円で過大な金額が計上されており、資金不足を21年度は134,000千円、22年度は114,000千円の借入金で補っている現状であり、運営は大変厳しい状況である。由岐病院について、14,565千円の単年度赤字であったが、資金不足はない。

このようなことから、今後、早急に医療体制の見直しをする必要がある。

3. 現在、美波町病院事業のあり方検討委員会において、今後の美波町の医療体制等について検討・協議を行っているところであり、住民が安心して医療を受けられる体制を早急に検討することが望まれる。